

建築4団体 従来方式を陳情

PFI導入慎重に



PFI導入が懸念されている鹿児島市立病院の新築計画で、建築関係4団体は21日、鹿児島市の森博幸市長と小森孝文同市議会議長を訪ね、従来の入札方式による発注を陳情し、写真1。地域経済活性化などを求め、要望書を提出した。PFI事業では、リスク分担に曖昧(あいまい)さを抱えるなど課題も多く、市当局の判断が注目される。

陳情に参加したのは、県建築士事務所協会(大原達也会長)、県建築協会(上山一吉会長)、県建設協会(山ノ内文治会長)、県空調衛生工業協会(青木英一郎会長)の4会。3月定例会議で同計画がPFI導入の検討対象となっていることを受け、地元業者育成などの観点から陳情することになったという。

同計画では、20年度から基本設計などに着手、24年度に着工が予定され、27年度の開院を目指している。建設費や機械備品等2億5200万円を含め、用地費や諸経費を含めると事業費は総額31億6000万円に上る。県は鹿児島県立学校の移

設計・施工一括発注の課題
CM方式の在り方示す

国土交通省は、14日の「直轄事業の建設生産システムにおける発注者責任の明確化」を踏まえ、設計・施工一括発注方式を採用する際の課題と対応、CM方式の在り方など、19年度の取り組みとめ案を示した。

設計・施工一括発注方式では、コンソーシアム(企業連合)を活用する場合の設計者と製作・施工者の役割分担や、設計内容の確認方法、受発注者間のリスク分担の考え方を提示。今後の検討課題としては、契約約款や実施マニュアルの整備の必要性などを挙げた。

取りまとめ案(設計・施工一括発注方式関連)には、今年度の議論を踏まえ、コンソーシアム(設計者・製作・施工者で構成)方式での競争参加を可能とするための各役割分担と、設計内容の確認(品質評価者・第三者による確認・照査の体制)方法、受発注者間での最適なリスク分担についての考え方を提示。さらに、コンソーシアムに

念しているが、同市では、新築計画の整備事業にPFIを導入した。病院整備では、PFI事業の負担や経費相当額が上乗せされる、として「トータルでは必ずしも市にとって有利とはいえない」と主張。また、「技術面では県外業者には劣らない」と述べ、従来の入札方式による事業参加への意欲を強調した。

要望書を提出した関係者によると、森市長、小森議長らはいずれも、「要望に応えられるよう努力する。失敗事例もあり、よく検討したい」などと答えたという。

法令整備待たず健康被害防止を

厚生労働省は、健康被害の未然防止に向けて、同省のリスク評価検討会が19年度にリスクを評価したニッケル化合物など10化学物質への対策を行うよう、日本塗料工業会、日本塗装工業会など関係事業主団体に3月14日付で要請した。10物質のうち、粉状のニッケル化合物とヒ素(化合物)については関係法令の整備を待たず、労働安全衛生規則に基づき措置を講じるよう求めた。

日塗装などに要請

厚労省がリスク評価

カルボニルを除く⑦ヒ素およびその化合物(三酸化砒素を除く)⑧フェニルオキシラン⑨弗化ビニル⑩プロモエチレン。同省は、このうち粉状

厚労省、19年賃金構造基本統計調査

建設業 男性 43歳で33万6100円

厚生労働省がまとめた19年賃金構造基本統計調査によると、建設業の男性就業者(43・4歳)の賃金は33万6100円、対前年増減率マイナス0・7%。女性就業者(40・6歳)は、21万1800円、同マイナス2・4%となり、男女ともに減った。

建設業の雇用形態別賃金は、男性正社員が34万1300円、同マイナスイ・9%。正社員・正職員の賃金は26万7700円、同0・8%。正社員・正職員の賃金を100とした場合の正社員・正職員以外の賃金格差は78。一万、建設業の女性正社員・正職員の賃金は、21万9800円、同マイナスイ・2%。正社員・正職員以外の賃金は16万4000円、同マイナスイ・9%。女性正社員・正職員の賃金を100とした場合の正社員・正職員以外の賃金格差は75だった。

この調査は、14大産業に雇用されている労働者の雇用形態、就業形態、職種別賃金などを明らかにすることを目的として行っているもので、調査は19年6月分の賃金について19年7月に調査を行った。

私の健康手帳

第14回 パニック障害②

パニック障害の治療

パニック障害の治療は、脳内の神経伝達物質による機能調整の乱れを整える薬物療法を中心とし、同時に、うまくストレスとつきあっていくための生活指導を行います。

パニック障害の原因はまだよくわかっていませんが、脳内の神経伝達物質のバランスが乱れ、自律神経が過剰反応をすることで起こると考えられています。「気のせい」や、性格の問題ではなく、身体的な原因がある病気であり、症状のコントロールに効果的な薬があります。

薬物療法



一つは「SSRI(選択的セロトニン取り込み阻害薬)」と呼ばれる抗うつ薬で、いくつかの種類があります。「セロトニン」は脳内の神経伝達物質で、気分や不安、いらだちの調整に関与しています。SSRIはセロトニンの効果を高め、「発作が起これば」といった予期不安を抑えます。ただ、SSRIは効果が出るまでに2週間から4週間かかり、今ある発作には効果がありません。

このため、初めは即効性のある「ベンゾジアゼピン系抗不安薬」を併用し、発作ができるだけ起こらないようにします。

このような薬物療法で発作・不安のコントロールをしながら、パニック障害について正しく理解してもらう、過度の不安を修正する、ストレスへの対処法を考えるなどの精神療法を行います。症状が安定してきたら、避けていた状況に少しずつチャレンジする「暴露法」を行います。

まずは、できるだけ早期に治療を始めることが大切です。(次回に続く)

監修 エンジェルハートクリニック

院長 溝上佳香先生

おみやみ情報をお寄せください
おみやみ情報は無料です。毎週火曜日から土曜日(夏季・年末年始休暇および祝祭日の翌日を除く)に掲載します。会社の代表者ならびに社員にかかわらずどなたでも構いません。親族、身内の方もご相談ください。